

草津市総合計画審議会_基本計画部会

(主な意見とその対応)

第1回

(1) リーディングプロジェクト(案)について

主な意見	事務局回答及び考え方(案)
<ul style="list-style-type: none"> ● 我々の役割として、リーディング・プロジェクトについて、理想論として検討をしてもいいのか。厳しい財政状況を踏まえた上での検討をすべきなのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 意見；当然、厳しい財政状況を踏まえて検討すべきだろう)
<ul style="list-style-type: none"> ● 「地域」の用語の使い方に留意をされたい。自治体そのものと、各学(地)区と両方に用いている 	<ul style="list-style-type: none"> ● 学区としての地域、市としての地域について、それぞれ同じ文言になっているが、使い分けについては、可能かどうか検討はしたい。 ● (会長；両方の意味で用いることは、やむを得ないだろう)
<ul style="list-style-type: none"> ● リーディング・プロジェクトは、自助公助共助という考え方かというと、どう捉えるべきか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ● リーディング・プロジェクト対象事業は、分野別計画において、再掲することになる。そのために、分野別計画において行政の役割、市民、地域の役割、事業者、大学等の役割について整理をしている。
<ul style="list-style-type: none"> ● 中長期の成果指標は出さないのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 中長期にはどのような状態になるかについては示していくが、成果指標は検討段階である。ただし、少なくとも、第1期基本計画期間の指標はしっかりと示していきたい。
<ul style="list-style-type: none"> ● リーディング・プロジェクトの位置づけやプロジェクトの設計条件の文言表現について、修正されたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ● プロジェクト立案時点の説明資料として整理しており、今回、計画書記載内容として、指摘を踏まえて再整理を行います。
<ul style="list-style-type: none"> ● 「学力向上」が「学校が好きになる」など、取り組み内容と成果の表現が合致していないものがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ● プロジェクトが固まり次第、再精査したい。
<ul style="list-style-type: none"> ● プロジェクト全体が4層の構造になっており少しわかりにくい。整理統合を含めて、再構成されたい。 ● プロジェクトが8項目はいかにも多い。一段上のレイヤーで考えて、大幅な再編をお願いしたい。 	<p style="text-align: center;">シビック・プライド</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ご意見を踏まえて、ふるさと草津の心をつくる、3つのリーディング・プロジェクトとして再整理いたします。
<ul style="list-style-type: none"> ● 各論・分野別計画との整合は図れているのか(緑の基本計画、男女共同参画推進計画など) 	<ul style="list-style-type: none"> ● すでに出来ている男女共同参画推進計画とは整合をとっています。 ● また、各課から提出された内容をもとにリーディング・プロジェクトの施策を組み立てているので、これから作る緑の基本計画などについても、名称は別にしても同様な位置づけができていくと考えています。

<ul style="list-style-type: none"> ● 「まちなか」だけでよいか。周辺部から異論がでないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 草津市全体を一体的なまちと捉えている。 ● 「まちなか」を単に良くするのではなく、「まちなか」を活性化するが周辺地域を含めた草津市全体の「元気」や「うるおい」につながっていくとしています。
<ul style="list-style-type: none"> ● 外国籍市民など、多文化共生は今後ますます重要となる視点である。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 今回の基本計画は、進行管理はもちろん、行財政システムとの連動を重視しています。
<ul style="list-style-type: none"> ● 女性、高齢者、障害者など、ノーマライゼーションの視点に踏み込んだ計画とされたい。 ● 多文化共生や女性などを、こういう人権の括りなどにしてしまうと、その分野の問題になってしまって、社会全体の問題にならない。 ● 男女共同参画の視点は、横断的に入れてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ● そのため、実際の施策・事務事業を基本に、その体系を論理的にシンプルな構造となるよう努めている。 ● ノーマライゼーションとインクルーシブな社会づくりの視点については、行政の役割で掲載することなど、検討していきたい。
<ul style="list-style-type: none"> ● 人権だけで終わってもらいと困る、ということで、市民文化などで趣旨を踏まえるか。行政の行動、成果指標などで入れるなどもある。対応を検討してほしい。 	
<ul style="list-style-type: none"> ● 学力向上の事業は、学校教育モデルプラン推進事業に含めてはどうか。 ● 教育とエコ・ミュージアムなどリンクさせて、エキサイティングなものにしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 今回のリーディング・プロジェクトの施策について再整理している。 ● 教育とエコ・ミュージアムについては、リンクさせていきたい。
<ul style="list-style-type: none"> ● 「地域協働合校のさらなる推進が図られている」という成果指標はおかしい。10年の反省を受けて次を考えるべきだろう。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 成果指標について再検討いたします。
<ul style="list-style-type: none"> ● 地域協働合校についてプロジェクトの2でもいいが、3でもいいかもしれない。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 今回のリーディング・プロジェクトの施策について再整理している。
<ul style="list-style-type: none"> ● ごみ減量・資源化促進事業のなかにある、拠点づくりの具体的内容はなにか。 	<ul style="list-style-type: none"> ● クリーンセンター建て替えが、この10年では必要と考えている。単なるごみ処理施設ではなく、環境学習等に生かせるものとしていきたい。
<ul style="list-style-type: none"> ● 都市観光とは、どういう内容を指しているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 例えば「本陣に行きたい」というような施設に行く観光ではなくて、「草津に行きたい」という人を作り出していきたい。 ● 今回のリーディング・プロジェクトの施策について再整理している。

(2) 分野別計画・行財政マネジメント（素案）について

主な意見	事務局回答及び考え方（案）
<ul style="list-style-type: none"> ● 地域力を高める、とあるが、施策としてみえない。P28など「～します」ばかりで、市民が進めていくことは表現されないのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域、市民の役割で整理していきたい。

第2回

(1) リーディングプロジェクト（案）について

主な意見	事務局回答及び考え方（案）
<ul style="list-style-type: none"> ● 「ノーマライゼーションとインクルーシブな社会づくりの視点」という表現がわかりづらい。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 「ノーマライゼーション」はいわゆる機会の均等化であり、「インクルーシブ」は阻害しない、包み込むという意味ではありますが、わかりやすい表現に修正いたします。
<ul style="list-style-type: none"> ● 「草津の産業集積とネットワーク化」の概要において「田上インターの立地を生かした」産業集積について書かれているが、これまでに議論のあった産業全体、農業や地域性との整合がわからない。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 田上インターの利便性が高い立地性を生かし、田上インター周辺のみならず、市内へ産業を誘致し、草津全体の活性化につなげるという視点で表現しています。
<ul style="list-style-type: none"> ● 田上インターは基本計画において学術・福祉拠点というエリアに位置づけているがそのこととの整合はどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 国土利用計画とあわせて、表現の整合を図っていきます。
<ul style="list-style-type: none"> ● 「市民文化の拠点施設を整備」とあるが、箱ものを整備することは反対意見も多く、意義が見いだせない。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 一定の施設整備は必要であり、「施設の新設整備を行う」ことのみを表現する内容ではなく、「既存施設をより有効に活用できるよう整備していく」という趣旨を含んでいきます。
<ul style="list-style-type: none"> ● 成果指標が「整備される」となっているが、重要なのは、整備されたものがどのように生かされたかであり、この指標は責任が不明確である。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 趣旨を踏まえ修正いたします。 → 市民文化活動が活発になる。
<ul style="list-style-type: none"> ● 「草津の市民文化を先導する人々の支援」については、先導する人だけの支援でなく、その人たちを応援する多様な主体の支援も必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 趣旨を踏まえ修正いたします。 → 市民文化を未来につなぐ活動への支援
<ul style="list-style-type: none"> ● 10年後を見据えた計画であることを踏まえると、次世代への文化力の継承が重要であり、これまで草津が培ってきた子どもの高い芸術性を受け継ぐためのターゲットを絞った取組みを検討頂きたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 子どもを強調していないが、「市民文化を未来につなぐ活動」という表現といたします。
<ul style="list-style-type: none"> ● 子どもの芸術性の高さについては、子どもと接点のない市民はほとんど知らない。PRや啓発の方法について検討すべきではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 市民への浸透が十分ではない点は課題であり、リーディングの中での位置づけや具体的な取組みについて検討していきます。
<ul style="list-style-type: none"> ● 「市民文化の拠点施設」は生涯学習センターを念頭において入ると思われるが、施設を作る際には、座・でいすかすのように広く意見を吸い上げる方法をとって頂きたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 生涯学習センターだけでなく、複合施設として検討をしている。

<ul style="list-style-type: none"> ● 子どもを含め弱い立場の方々がノーマライゼーション、何か手助けがあれば同じ立場に立てるということがこの計画の基本であることを、最初に記載しその上で、リーディングプロジェクトを示してもらいたい。そうすることで、縦割りではない、トータル、ボーダーレスな視点であることがわかる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 趣旨を踏まえ、「市民の“高いところぞし”のもと」や『ここに掲げるプロジェクトは、私たち市民の間に「^{シビック・プライド}ふるさと草津の心」が自ら生み出されるよう』ということで表現いたします。
<ul style="list-style-type: none"> ● 箱ものについては、既存施設の活用、文化の拠点の整備としてシャッター街を活用するなど、市民との協働の視点も含め、「拠点」というものに対する草津市の考え方を示したらどうだろうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 趣旨を踏まえ修正いたします。 → 今ある文化施設や店舗などのいっそうの活用と、新たな拠点施設の整備・活用により、草津の文化の底力を高めていきます。
<ul style="list-style-type: none"> ● 市民が育っていく、人づくりという表現をして頂きたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 「人をつくる」という客体として市民を捉える表現ではなく、「人が学び育つ」など、市民を主体とする表現にいたします。
<ul style="list-style-type: none"> ● 文化芸術の創造という一点に絞った表現となっているが、全体の文化力の向上、拠点の整備にしても、まち全体が拠点であるという意味づけにし、大きな視点で記載頂きたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 趣旨を踏まえ修正いたします。 → 今ある文化施設や店舗などのいっそうの活用と、新たな拠点施設の整備・活用により、草津の文化の底力を高めていきます。
<ul style="list-style-type: none"> ● 「草津の市民文化を先導する人々の支援」について「先導」は表現が絞られているため、先導する人々の支援、次世代への継承という二方向を示せる表現として頂きたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 趣旨を踏まえ修正いたします。 → 市民文化を未来につなぐ活動への支援
<ul style="list-style-type: none"> ● 「子どもの元気づくり」と「大人と子どもの地域協働の促進」についてはもう少し整理が必要ではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 趣旨を踏まえ、構成を含めて整理いたします。 → 子どもの育ち・学びの応援 地域学習社会における新しい市民自治づくり
<ul style="list-style-type: none"> ● 合計6つの施策に構成されて18のプロジェクトがでている。 ● 3つのプロジェクトについては中心軸になるプロジェクトは1つということではっきりさせていただきたい。 ● リーディングの対象の施策としては15ということで整理をするということで、基本計画部会としてまとめをさせていただきたいと。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 趣旨を踏まえ修正いたします。 → 基本計画部会、総合計画特別委員会での意見等を踏まえ、リーディングの対象の施策を15して整理いたします。
<ul style="list-style-type: none"> ● 「個別事業」とあるが「プロジェクトを構成する施策に設定する対象事業一覧表」というように「対象事業」として整理したほうがよいのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 「想定するリーディング対象事業名」とします。
<ul style="list-style-type: none"> ● 一覧表で担当課二つ書かれているものについてはどのように理解したらよいか。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 複数の課が書いてあるものは比較的横断的に取り組み、一つの課が書いてあるものは重点的に行うものであります。

(2) 分野別計画・行財政マネジメント（素案）について

主な意見	事務局回答及び考え方（案）
<ul style="list-style-type: none"> ● 15 ページの「成果指標と各主体の行動」のところで一つだけ固有名詞が入っているが、ここが担い手だと固有名詞が出ているのは非常に不自然に感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 趣旨を踏まえ修正いたします。
<ul style="list-style-type: none"> ● 「勤労者の支援」として、具体的に「行政のなかには雇用不安についての相談に応じます」ということしか書かれていないが、労働団体は福祉団体が三つもあり、各種団体との調整支援なども充実させて頂きたい。 ● 成果指標が「完全失業率」だけになっているが福利厚生なども含めていうと失業率だけではないように思われる。 	<p>当該箇所については、市民会議の意見を踏まえ、整理しております。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 施策の概要に記載しております「草津市勤労者支援基本方針」の中で各種団体との調整支援なども含んでおります。 ● 趣旨を踏まえ修正いたします。 → 有効求人倍率
<ul style="list-style-type: none"> ● 行政の行動に対しては表現の仕方が「します」「努めます」という表現となっているがどのように使い分けているのか。「努めます」という表現は行動が約束されていない。 	<p>当該箇所については、市民会議の意見を踏まえ、整理しております。</p> <p>現時点で具体的な行動を約束できるものだけでなく、中には努力目標としての表現に留めているものもあります。</p> <p>そのため、計画の達成評価を実施しその結果を活用する際の視点等として整理していることで御理解をお願いしたい。</p>